



会員近況

太陽神戸銀行 事務企画室 寺田 光男

金融自由化がいま確実に進んでおり、その推進の源といえる「エレクトロニック革命」への対応に追われている毎日です。こうしたなかで完全な自由化が来年の4月に実施される通信ネットワークにOR的手法を適用してみようと考えています。「情報通信ネットワーク」をいかに経済性、安全性、機能を高くして効率的に作ることでネットワークを評価する要素および構成上の制約、条件等が多くて、従来のように適当にやるが大変にむずかしくなっています。このことはVANをはじめとして社会的にも大変に重要な課題になっており、ORの「ネットワーク手法」を適用してみようと考えています。

また要員の教育面で CAL (COMPUTER ASS-

ISTED LEARNING) に大変に興味をもっており、そのなかで、ゲームシミュレーションに特に注目しております。

日立精工 製品企画室 柴田 祐作

13年間、日立製作所システム開発研究所でシステムの計画・評価に関する研究・企画に従事したが、昨年8月から上記の職場に移り、生産と販売に密着した立場で新製品の企画・推進にとりくんでいる。対象は、工作機、図形処理装置、印刷機などであるが、特にコンピュータ応用に力を入れている。

この分野は、マーケット技術とともに無限の可能性があるが、具体的な意思決定と担当者の動機づけとなると、条件が複雑・不確定でリスクが大きく、関係者のコンセンサスを得ることは容易でない。そこで、OR学会の「政策科学」「未来予測」「デジジョン・サポート」「リスク・マネジメント」等の分科会で勉強したことが役立つように思えるのだが、私の非力のせい、現実とのギャップを埋めることは容易ではない。最近つくづく考える

昭和59年度役員

理事	会 長	近 藤 次 郎	〃	会 計	森 下 啓 造	〃	無 任 所	関 口 恭 毅
〃	副 会 長	佐 久 間 孝	〃	研 究 普 及	今 野 浩	〃	〃	児 玉 正 憲
〃	〃	森 村 英 典	〃	〃	高 井 英 造	〃	〃	富 田 英 雄
〃	〃	伊 理 正 夫	〃	編 集	牧 野 都 治	〃	〃	山 本 正 明
〃	庶 務	渡 辺 忠	〃	〃	阿 部 俊 一	監 事	〃	八 巻 直 躬
〃	〃	柳 澤 滋	〃	国 際	横 井 満	〃	〃	島 田 俊 郎

昭和59, 60年度評議員

青 木 兼 一	岩 田 怜	木 瀬 洋	須 永 照 雄	長 谷 川 利 治	村 松 林 太 郎
浅 利 英 吉	上 田 亀 之 助	木 村 修	千 住 鎮 雄	鳩 山 由 紀 夫	本 告 光 男
雨 宮 幸 雄	榎 本 久 徳	国 沢 清 典	反 町 洋 一	原 野 秀 永	森 口 繁 一
荒 木 睦 彦	小 笠 原 暁	小 林 龍 一	田 畑 吉 雄	日 比 野 康 文	八 島 章 一
新 野 央	小 野 勝 章	児 玉 正 憲	高 橋 幸 雄	藤 永 靖 彦	八 巻 直 躬
伊 理 正 夫	大 野 勝 久	今 野 衛 司	高 橋 磐 郎	古 川 長 太	矢 島 敬 二
飯 田 徳 雄	岡 本 行 二	小 和 田 正	高 原 康 彦	真 壁 肇	安 永 通 晴
池 田 孝	奥 田 好 郎	紺 野 功 一	竹 内 清 真	鍋 龍 太 郎	柳 井 浩
石 井 威 望	加 地 郁 夫	権 藤 元 鶴	田 和 彦	前 田 英 次 郎	吉 村 博 之
石 川 馨	唐 津 一	佐 久 間 孝	中 川 勝	牧 野 都 治	渡 辺 浩
石 堂 一 成	川 野 幸 三 郎	斎 藤 嘉 博	中 村 健 二 郎	松 田 武 彦	
今 川 貞 郎	河 口 至 商	坂 口 実	西 木 俊 彦	水 野 幸 男	